



2014年3月期 第2四半期決算説明会

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2013年11月6日

本日の内容

Chapter 1 2014年3月期 第2四半期 決算総括

Chapter 2 2014年3月期 業績予想

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

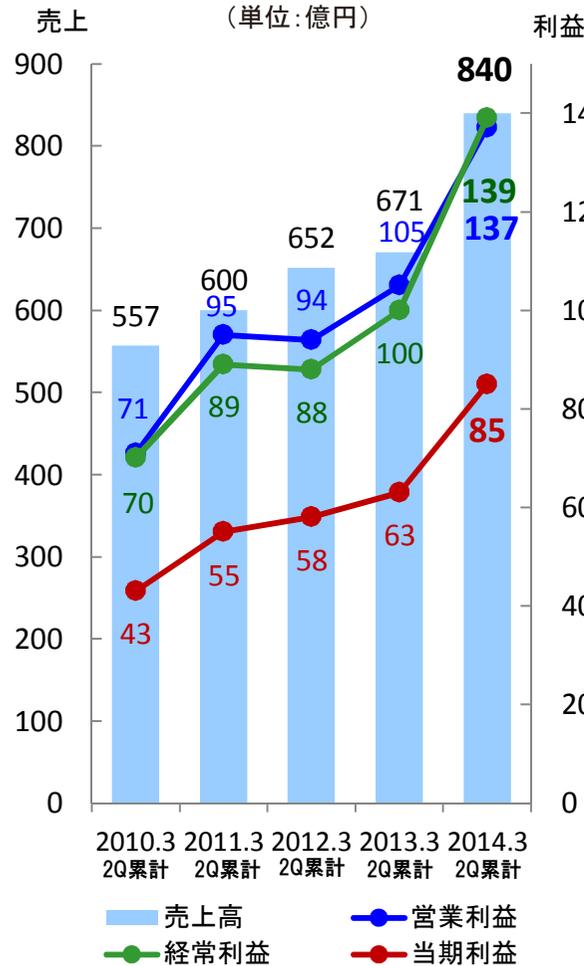
Chapter 1

2014年3月期 第2四半期 決算総括

決算総括



※公表数値は2013年5月公表 (単位: 億円)



	2014年3月期 2Q累計		2014年3月期 2Q累計		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	公表*	構成比	実績	構成比	
売上高	840.7	100%	820	100%	671.8	100%	125.2%
売上原価	307.4	36.6%	-	-	247.9	36.9%	124.0%
販売費及び一般管理費	396.2	47.1%	-	-	317.9	47.3%	124.6%
営業利益	137.1	16.3%	140	17.1%	105.9	15.8%	129.5%
経常利益	139.5	16.6%	140	17.1%	100.5	15.0%	138.8%
当期純利益	85.9	10.2%	87	10.6%	63.8	9.5%	134.5%

● 売上高、全ての利益において過去最高を達成

- 売上高: 円安の影響もあり海外を中心に二桁増収
- 営業利益: 増収効果、原価率の改善により増益
- 営業外損益: 為替差益 0.7億円 (前年同期 為替差損 6.8億円)

➤ 為替の影響 売上 +130.4億円 営業利益 +32.5億円

※前年同期為替レート適用の場合: 売上高 105.7%、営業利益 98.8%

	14.3期 2Q累計実績	前年同期
1USD	98.9円	79.4円
1EUR	130.0円	100.7円

Copyright by Sysmex Corporation

- 設備投資 61.4億円 減価償却費 47.2億円 研究開発費 63.0億円

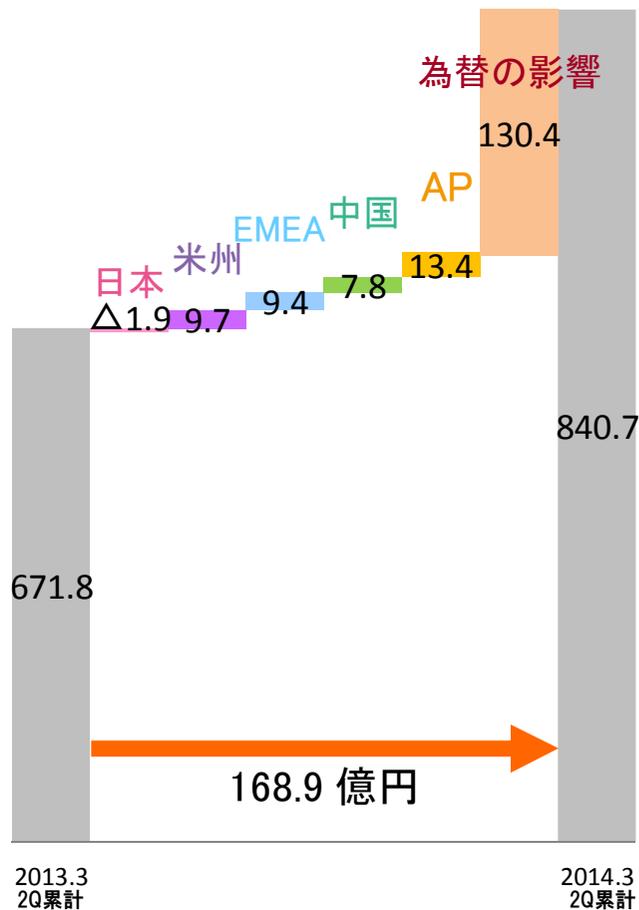
売上高・営業利益の増減要因



(単位: 億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く

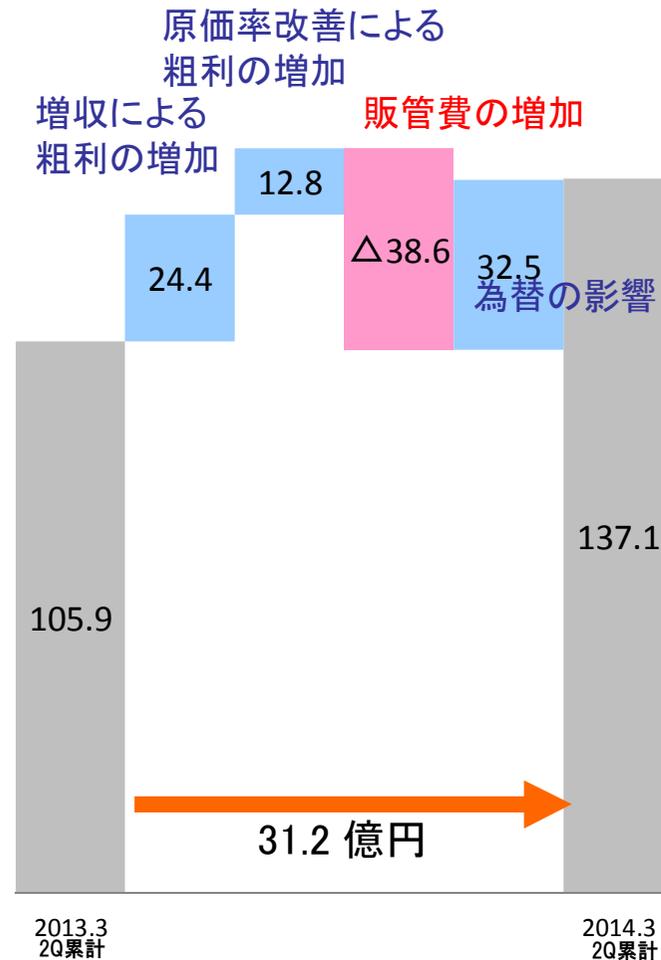


2013.3
2Q累計

2014.3
2Q累計

Copyright by Sysmex Corporation

営業利益



2013.3
2Q累計

2014.3
2Q累計

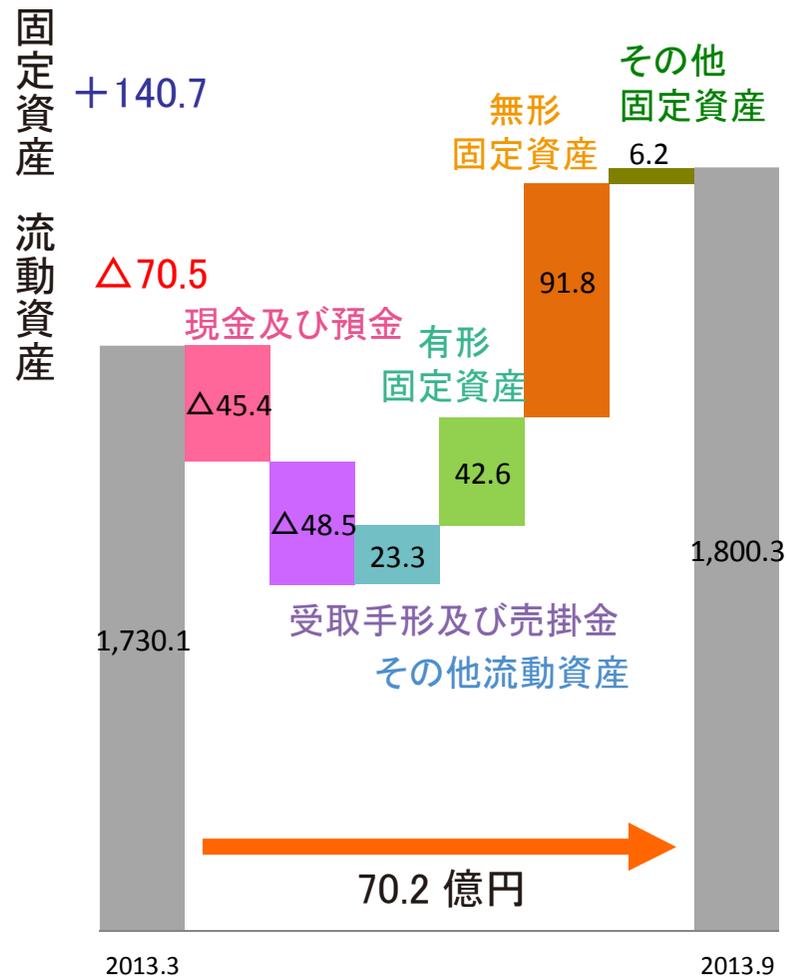
Sysmex Corporation

貸借対照表の増減要因

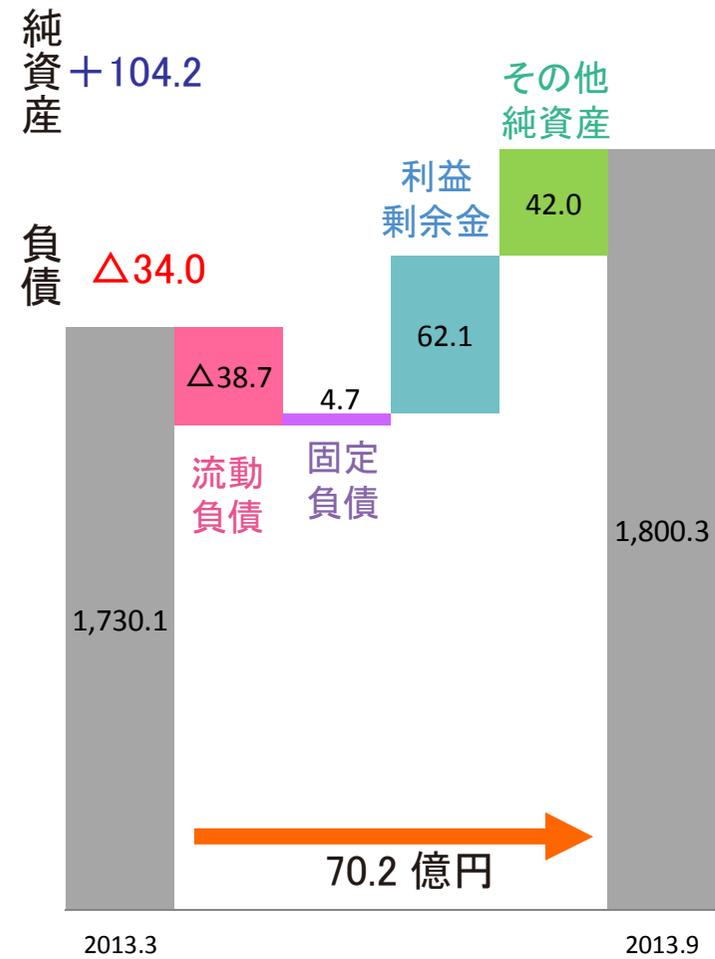


(単位: 億円)

資産の部



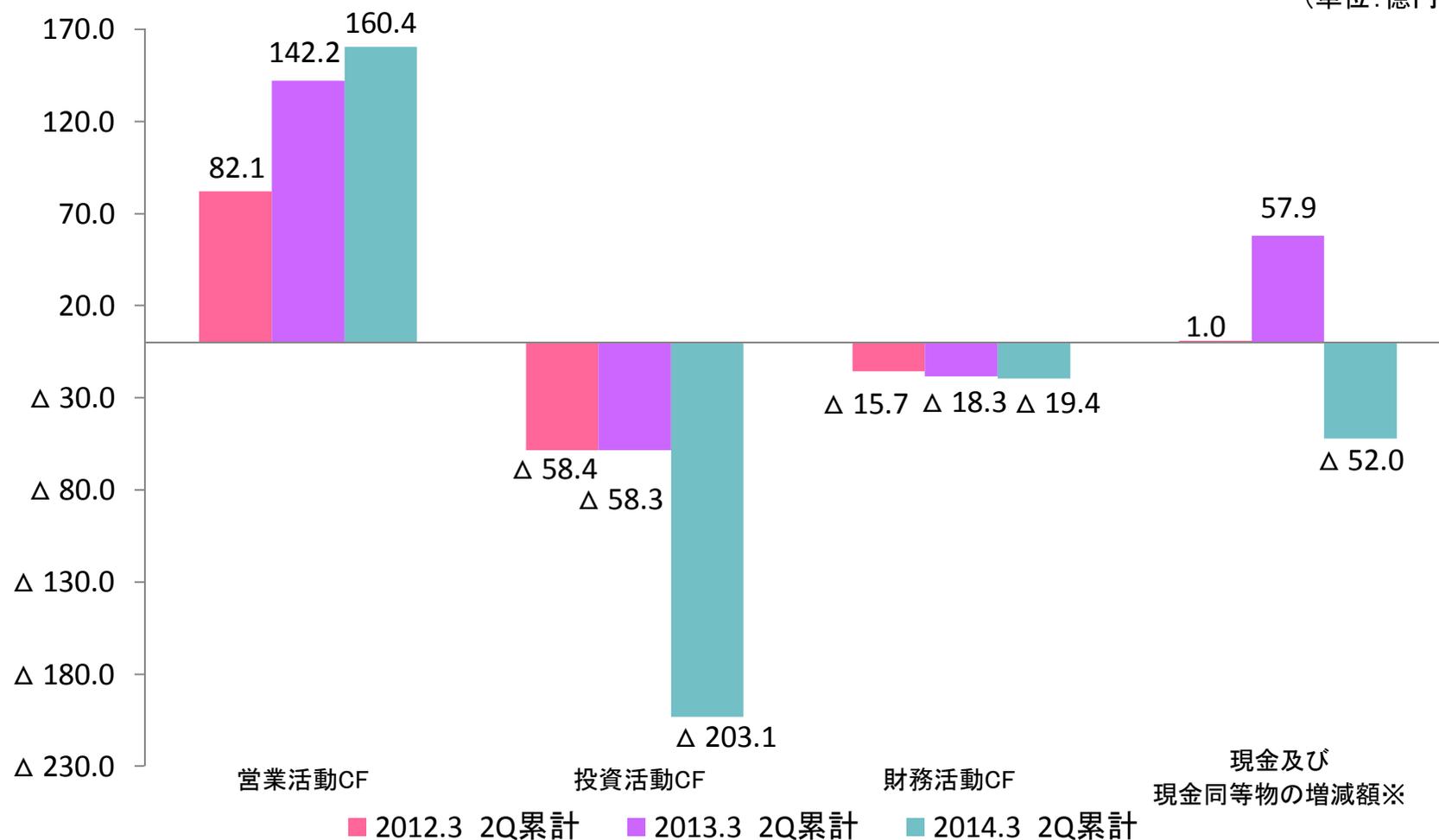
負債・純資産の部



キャッシュフローの推移



(単位: 億円)



※現金および現金同等物に係る換算差額も含まれております。

M&A ～個別化医療に向けた技術プラットフォーム拡充と新たなビジネス領域拡大～

● Partec買収

➤ 概要

- 会社設立 : 1967年
- 所在地 : ドイツ ゲルリッツ
- 強み :
 - FCM※1技術のパイオニアで、最先端のFCM技術を保有
 - 新興国・途上国においてHIV検査、マラリアなどの感染症検査を展開
- 今後の展開 :
 - 両社の強みを活かし、FCM技術・製品をリサーチ市場およびクリニカル市場で拡充
 - シスメックスの販売・サービスネットワークを活用し、感染症検査のグローバル化を加速



ヘマトロジーで培った技術、グローバル販売・サービスネットワーク(Sysmex)
+
FCM技術、新興国・途上国での販売ネットワーク(Partec)

ヘマトロジーの進化を目指す

※1 フローサイトメトリー(FCM): 微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して、個々の粒子を光学的に分析する手法のこと。

● Inostics買収

➤ 概要

- 会社設立 : 2008年
- 所在地 : ドイツ ハンブルグ
- 強み :
 - 血液中の癌遺伝子を測定するための高感度PCR※¹技術等の分子診断技術を保有
- 今後の展開 :
 - ラボアッセイサービス※²事業のグローバル展開
 - 製薬企業と血中遺伝子検査技術によるがんコンパニオン診断薬※³の共同開発
・バイエルヘルスケアと共同開発契約を締結(2013年10月)

BEAMing技術※⁴を使ったLiquid Biopsy※⁵検査による新たな価値創造

個別化医療への本格参入

※¹ PCR: 遺伝子増幅技術の一つ。

※² アッセイサービス: 新たな分子診断技術などを用いた検体分析の受託サービスのこと。

※³ コンパニオン診断: 医薬品の効果や副作用を投薬前に予測するために行なわれる臨床検査のこと。

※⁴ BEAMing技術: Bead, Emulsion, Amplification, and Magnetismの各頭文字を省略したもので、Digital PCR(高感度PCR)技術とフローサイトメトリー技術を融合させた遺伝子解析手法。これにより、血中の微量遺伝子変異を検出することができる。

※⁵ Liquid Biopsy: 腫瘍など組織の一部を採取して行っていた生体検査(Biopsy)と同等の性能でかつ患者さんに負担の少ない検査を血液検査で実現しようとするもの。

トピックス ③



製品

- 三日熱、四日熱マラリア感染検体のフラッグ技術を開発
- OSNA®法による大腸がん、胃がんのリンパ節転移迅速検査が保険適用（10月）
- 国立がん研究センターとがんの診断薬開発に向けた連携契約を締結（10月）

拠点整備

- 米国に研究開発拠点「米州R&Dセンター」を設立
- 機器生産工場の新工場設立に着手 2014年5月稼働予定（兵庫県加古川市）
- 将来のノンヘマトロジービジネス拡大のための土地取得（兵庫県神戸市）
- 医療用ロボット開発に向け、シスメックスと川崎重工がマーケティング会社を共同設立（10月）



事業別売上高



(単位: 億円)

	2014年3月期		前年同期※1		前年同期比
	2Q累計	構成比	実績	構成比	
ヘマトロジー	554.1	65.9%	435.6	64.8%	127.2%
尿	68.3	8.1%	52.5	7.8%	130.0%
その他※2	16.4	2.0%	15.3	2.3%	106.6%
HU-BU	638.9	76.0%	503.5	75.0%	126.9%
免疫	10.1	1.2%	10.0	1.5%	101.1%
生化学	16.4	2.0%	13.2	2.0%	124.1%
凝固	123.9	14.7%	96.6	14.4%	128.3%
ICH-BU	150.5	17.9%	119.9	17.9%	125.5%
その他IVD※3	31.7	3.8%	31.2	4.7%	101.6%
IVD 計	821.2	97.7%	654.8	97.5%	125.4%
LS-BU	7.0	0.8%	4.8	0.7%	146.5%
その他	12.5	1.5%	12.2	1.8%	102.4%
売上高 計	840.7	100.0%	671.8	100.0%	125.2%

※1 前年同期の実績は、変更後のセグメントに合わせて組み替えたもの

※2 Laboratory Information Systems (検査情報システム) 等

※3 仕入れ商品等

所在地別売上高



- 所在地別売上高
(外部売上)

(単位: 億円)

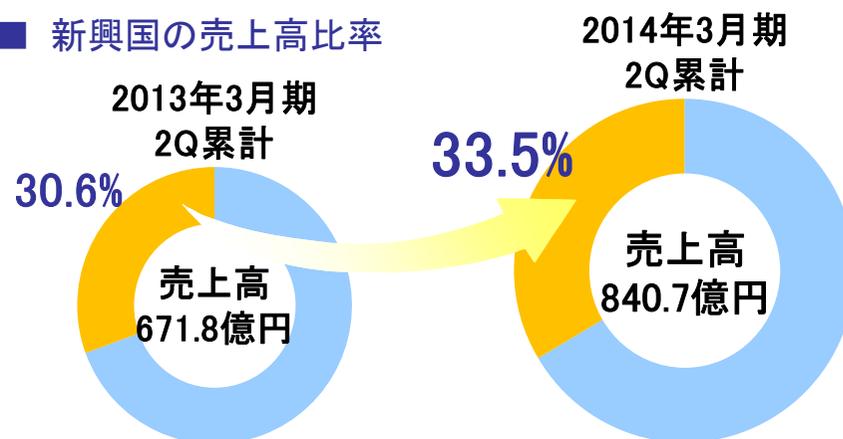
		2014年3月期		前年同期		前年同期比	
		2Q累計	構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		840.7	100%	671.8	100%	125.2%	-
所在地別	米州	172.4	20.5%	132.4	19.7%	130.1%	104.5%
	EMEA	236.8	28.2%	176.0	26.2%	134.5%	104.1%
	中国	172.4	20.5%	127.5	19.0%	135.3%	106.1%
	AP	64.4	7.7%	34.2	5.1%	188.0%	-
	日本※	194.6	23.1%	201.4	30.0%	96.6%	-

※アイデックス社等含む外部売上
※前期には韓国向け売上を含む

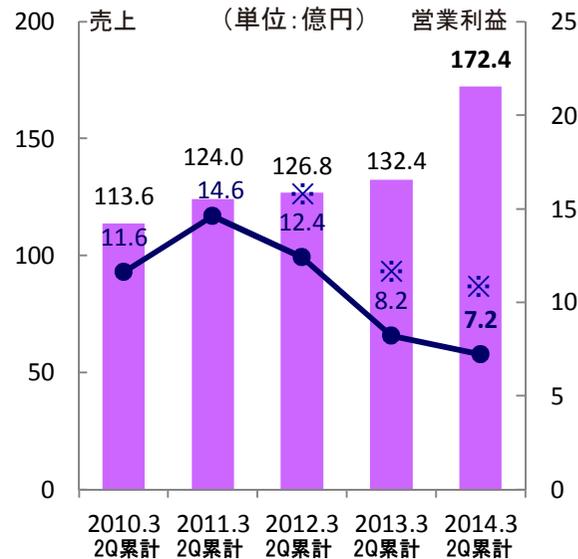
- 為替レート

	2014年3月期 2Q累計	前年同期
1USD	98.9円	79.4円
1EUR	130.0円	100.7円
1CNY	16.0円	12.6円

- 新興国の売上高比率



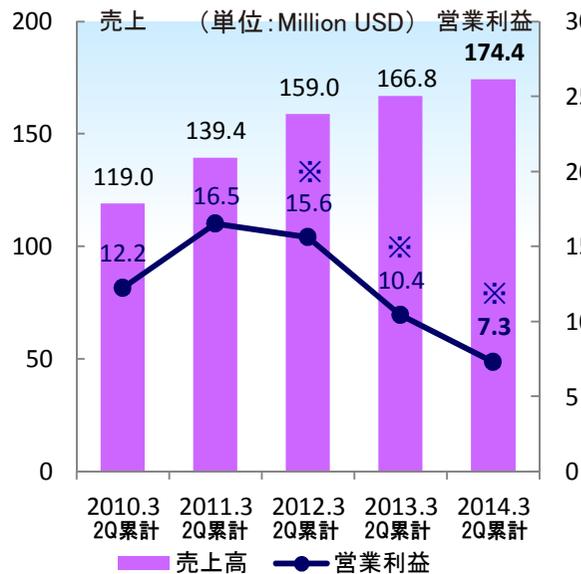
米州における取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2014年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	172.4	132.4	130.1%
営業利益※	7.2	8.2	87.6%

- 米国の医療制度改革の影響による買い控え、医療機器・試薬等に対する物品税導入により売上減少の影響があるも、設置台数増加に伴う試薬・サービス売上の伸長および円安により増収



- 物品税の影響、販売管理体制強化に伴う販管費増加に加え、グループ間取引価格の見直し等により営業利益は減益

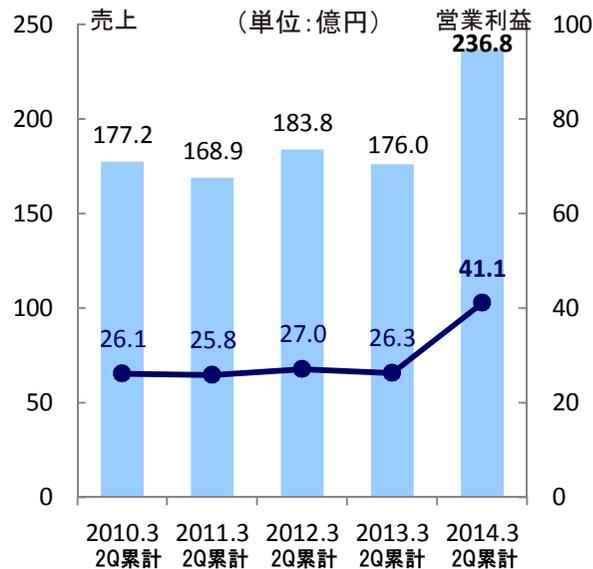
■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 104.5%、営業利益 70.3%

- 米国 : 物品税導入が影響するも、試薬・サービスの売上伸長により増収
- カナダ : 試薬等の販売は伸長したものの、医療費予算削減等が機器販売に影響し微減
- 中南米 : レアル安の影響があるも、コスタリカでの大型入札案件等により増収

※グループ間取引価格の見直しの影響

Copyright by Sysmex Corporation

EMEA※における取り組み(所在地別)



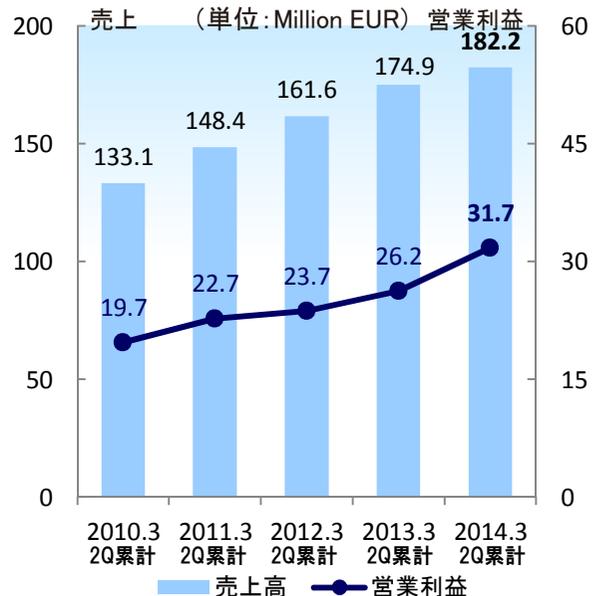
※欧州、中東、アフリカ地域

(単位: 億円)

	2014年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	236.8	176.0	134.5%
営業利益	41.1	26.3	156.1%

● 経済危機の影響が一部あるも、設置台数増加に伴う試薬売上の伸長および円安により増収

● 増収と原価率の改善が、販管費の増加を補い大幅増益



■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 104.1%、営業利益 120.9%

➢ 主要5カ国: 経済危機の影響が一部あるも堅調に推移

- イタリア : 緊縮政策の影響もあり減収

- スペイン : カタロニアの入札案件等により増収

- イギリス : ヘマトロジーの機器・試薬ともに増収

➢ その他欧州 : スイス、北欧地域を中心に増収

➢ ロシア : ヘマトロジーに加え、尿、凝固分野でも大幅増収

➢ 東欧 : ルーマニア、ポーランドを中心に増収

➢ 中東・アフリカ : 前年度のサウジアラビアの政府系大型入札案件等の影響もあり中東は微減

中国における取り組み(所在地別)



	(単位: 億円)		
	2014年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	172.4	127.5	135.3%
営業利益*	19.4	15.5	125.3%

- 市場での販売停滞の影響があるも、ヘマトロジー試薬を中心とした売上の伸長および円安により増収
- 販管費が増加するも、円安の影響により増益



■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 106.1%、営業利益 98.3%

- ヘマトロジー分野 : 機器販売が低迷するも、ヘマトロジー試薬等が堅調に伸長し増収
- 凝固分野 : 凝固系に加え、線溶系検査項目の需要拡大により増収
- 尿分野 : 機器設置台数の増加により試薬が大幅伸長

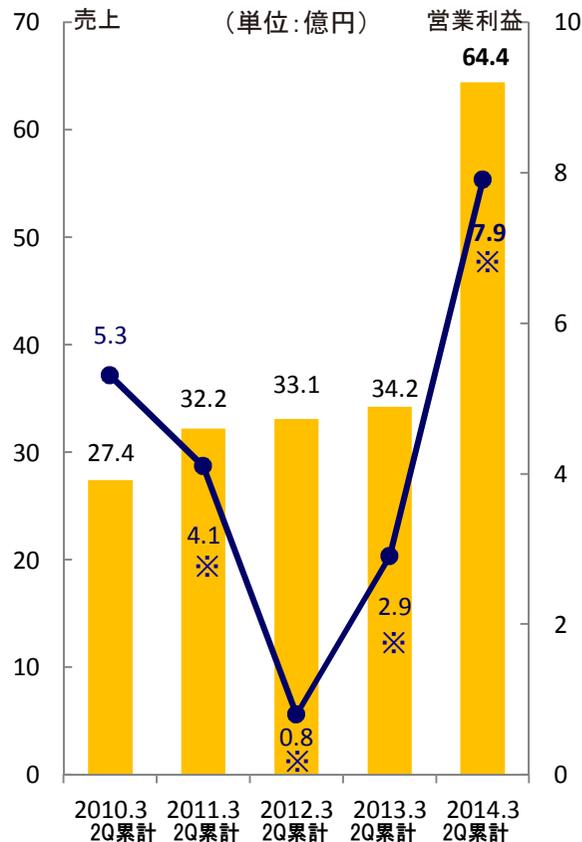
*グループ間取引価格の見直しの影響

Copyright by Sysmex Corporation

APにおける取り組み(所在地別)



(単位: 億円)



※グループ間取引価格の見直しの影響

	2014年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	64.4 ^(注)	34.2	188.0%
営業利益※	7.9	2.9	266.4%

- 韓国、タイの直販化に加え、インドネシア等が好調に推移し大幅増収

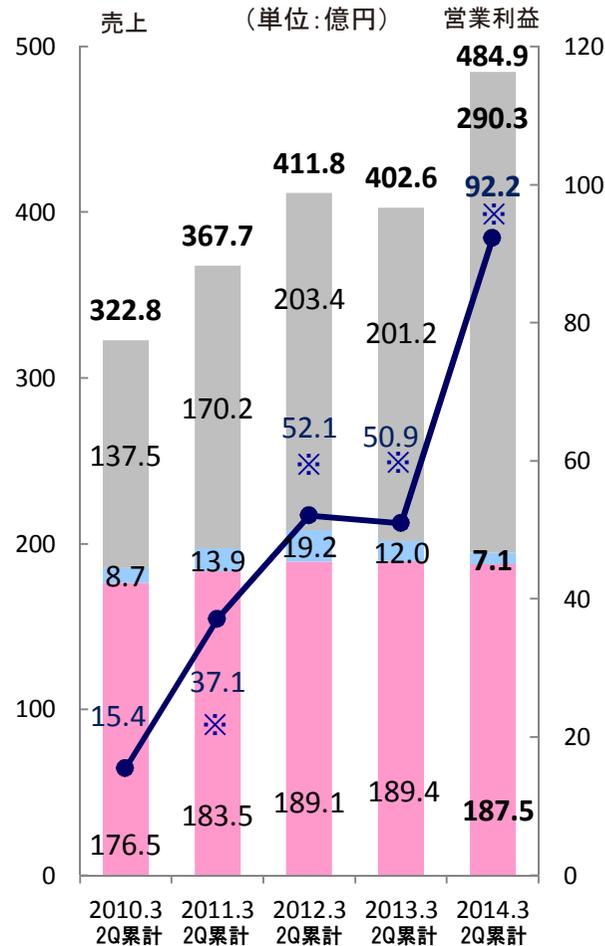
- 増収と原価率の改善が、販管費の増加を補い大幅増益

- 南アジア : インド、パキスタンにおけるヘマトロジー機器の売上が伸長し増収
- 東南アジア : タイの直販化、インドネシアにおける試薬売上が伸長
- オセアニア : 凝固分野の大型案件獲得、IT分野の伸長により増収
- 韓国・台湾 : 韓国の直販化により大幅増収

- ・ 韓国の影響を除いた場合、対前年同期比142.5%の増収

(注) 韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期1Qより日本所在地からAP所在地へ変更

日本における取り組み(所在地別)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等
 ■ 外部売上高: IDEXX社等
 ■ 外部売上高: 日本
 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直しの影響

	2014年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	484.9	402.6	120.4%
外部	194.6	201.4	96.6%
日本	187.5	189.4	99.0%
IDEXX社等	7.1 (注)	12.0	59.2%
内部	290.3	201.2	144.3%
営業利益※	92.2	50.9	181.1%

● 日本は微減も、グループ関係会社(海外)向けの内部売上の増加により増収増益

➢ 日本: ヘマトロジー分野の売上が減少するも、尿、凝固分野を中心に堅調に推移し、全体としては微減

➢ IDEXX社等: IDEXX社向け売上は増収も、韓国代理店の子会社化により韓国売上分が減少

・ 前年2Q累計には韓国向け売上7.5億円を含む

(注) 韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期1Qより日本所在地からAP所在地へ変更

Chapter 2

2014年3月期 業績予測

業績予想修正



● 前回予想との差異

(単位: 億円)

	前回予想 (2013年5月公表)		今回予想		増減額	増減率 (%)	前期実績 (2013年3月期)	
		構成比		構成比				構成比
売上高	1,750	100%	1,800	100%	+50	+2.9%	1,455	100%
営業利益	300	17.1%	300	16.7%	-	-	218	15.0%
経常利益	300	17.1%	300	16.7%	-	-	229	15.8%
当期純利益	185	10.6%	185	10.3%	-	-	141	9.7%

下期想定為替レート: 1USD=¥97.0 1EUR=¥130.0
 通期想定為替レート: 1USD=¥97.9 1EUR=¥130.0
 期初想定為替レート: 1USD=¥95.0 1EUR=¥125.0

● 修正の理由

売上 : 為替が想定よりも円安に推移しており、売上高は予想を上回る見込み

営業利益 : 増収効果はあるものの、ドイツ企業2社の買収に関する費用の増加等もあり当初の計画通り

経常利益・当期純利益 : 修正なし

連結 通期業績予想 (2013年5月公表より修正)



2014年3月期 連結業績予想

- 売上高 : **1,800** 億円
- 営業利益 : 300 億円
- 経常利益 : 300 億円
- 当期純利益 : 185 億円
- 営業利益率 : **16.7%**
- 経常利益率 : **16.7%**
- 当期純利益率 : **10.3%**

投資計画

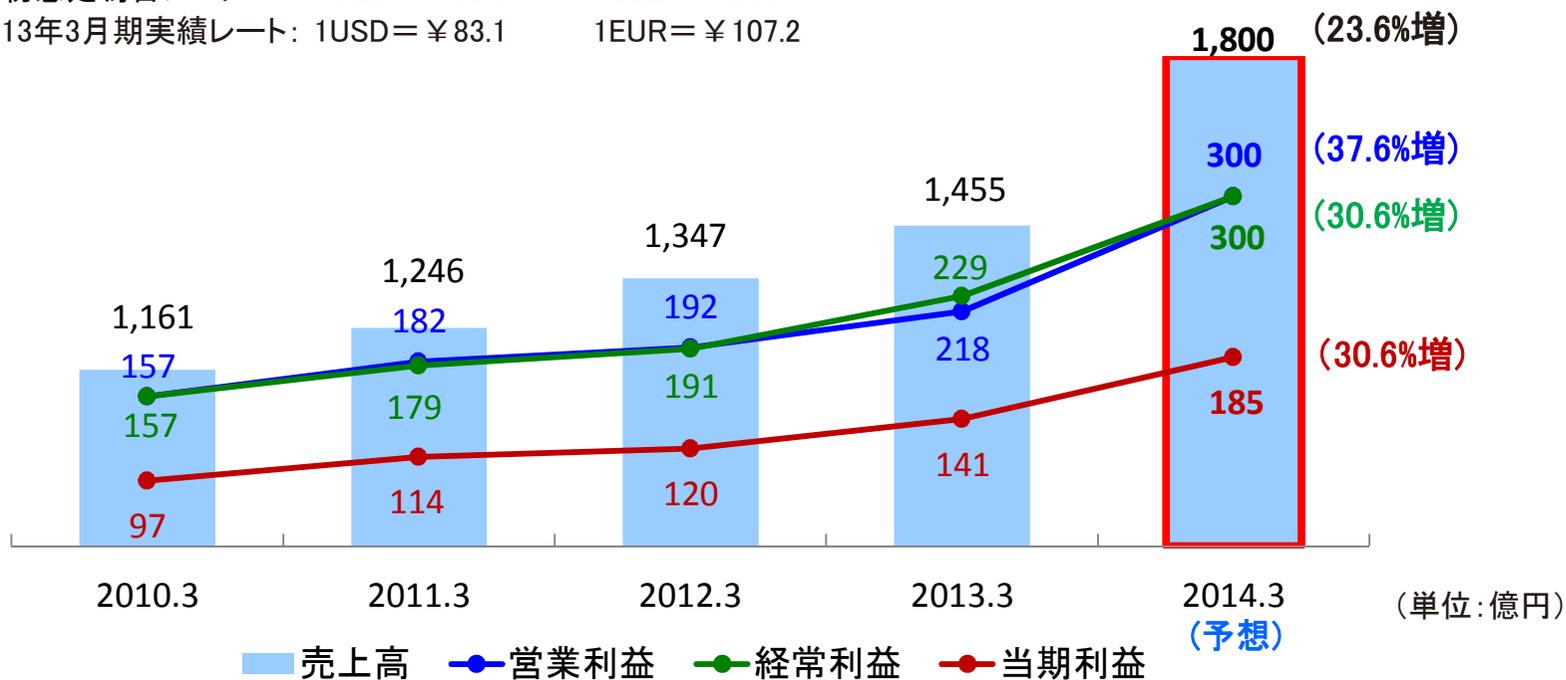
- 設備投資 : 120 億円
- 減価償却費 : 85 億円
- 研究開発費 : **135** 億円

下期想定為替レート: 1USD = **¥97.0** 1EUR = **¥130.0**

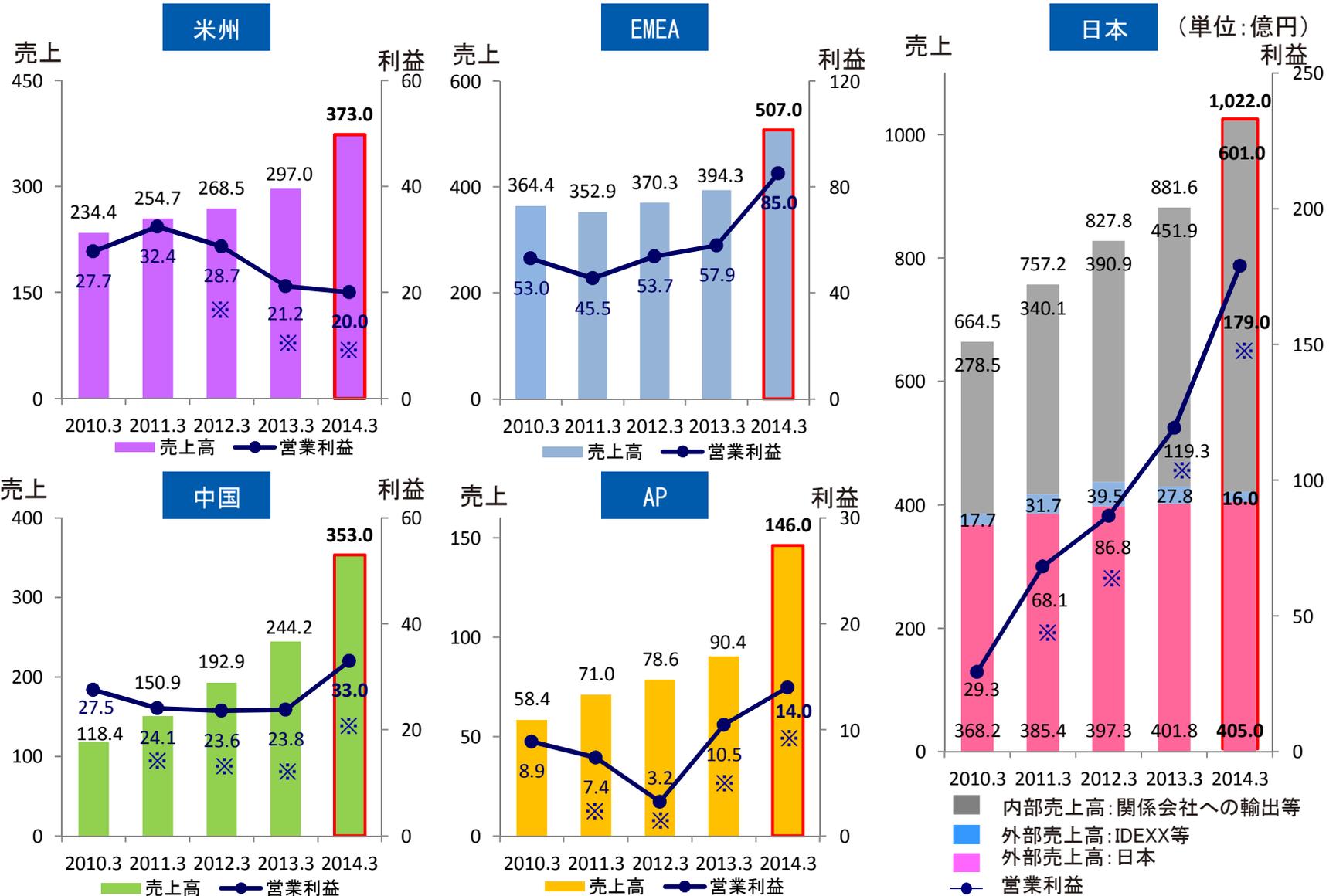
通期想定為替レート: 1USD = **¥97.9** 1EUR = **¥130.0**

※期初想定為替レート: 1USD = ¥95.0 1USD = ¥125.0

2013年3月期実績レート: 1USD = ¥83.1 1EUR = ¥107.2



所在地別 通期業績予想 (2013年5月公表より修正)





We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話: 078-265-0500

・メールアドレス: info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp